

村内等で行われた活動やイベントを紹介します

ず〜むあっぷ! 「まちの風景」



【写真後列左から】大塚東海地区交番所長、檜山ひたちなか警察署交通課長、【写真前列左3人目から】落合ひたちなか警察署長、山田村長



高 齢者が交通事故の被害者にならないために 「反射材着用推進リーダー委嘱式」

6月20日、役場で、「反射材着用推進リーダー委嘱式」が行われました。これは、県内における高齢者の交通事故の現状を踏まえて、夜間の交通事故防止に効果的な反射材の普及促進を図るために、「東海村高齢者クラブ連合会」の皆さんを「反射材着用推進リーダー」として委嘱したものです。皆さんも夜間外出する際は、反射材を着用し、事故を未然に防ぐよう努めましょう。



救 命手法の早期教育で命の大切さについて考える ひたちなか東海広域事務組合消防本部による「ジュニア救命士養成講習会」

6月19日、村松小学校で、「ジュニア救命士養成講習会」が行われました。ジュニア救命士養成とは、小学校高学年から心肺蘇生教育を行うことで、将来の地域救急医療体制の土台作りを目指すものです。この取り組みは、村内の全小学校で行われ、子どもたちは心臓マッサージやAEDの使用方法などを学び、救命処置の重要性について考えることができました。



子 育て中の「困った!」にどう向き合うか 「子どもの生き抜く力を育てよう〜折れない心を作る3つの方法〜」

6月19日、東海村産業・情報プラザ「アイヴィル」で、「子育て支援講演会」が行われました。講師の蝦名玲子さん(保健学博士)は、「生き抜く力は、わかる感・できる感・やるぞ感で成り立っており、ポジティブな言葉掛けなどを通して高めることが大切」と話していました。参加者たちは、子育ての悩みや困ったときの対処法、子どもとの接し方などの話に熱心に耳を傾けていました。



科 学って不思議でおもしろい! J-PARC職員による特別授業「ハローサイエンス」

6月21日、J-PARC職員が中丸小学校「理科クラブ」の児童を対象に光を題材とした授業を行いました。これは、J-PARCが行っている「ハローサイエンス」の一環で、簡単でおもしろい工作や実験をとおし、科学を身近に感じてもらうというもの。光の特徴について学習した後、光の万華鏡を作製した子どもたち。小さな筒をのぞき込むと「きれい!」「すごい!」など歓声が上がリ、「理科がもっと好きになった」と話してくれました。